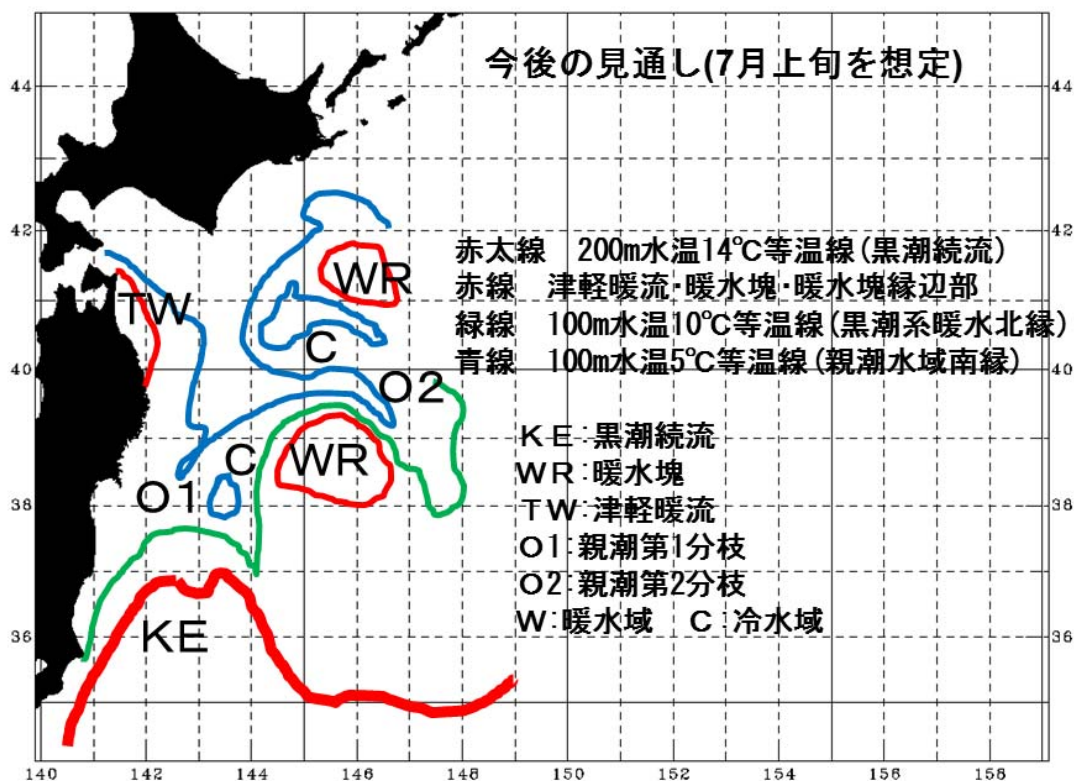


平成25年度 第2回 東北海区海況予報

— 別表の水産関係機関が検討し独立行政法人水産総合研究センター
北海道区水産研究所、東北区水産研究所がとりまとめた結果 —

今後の見通し(平成25年7月~8月)のポイント

- ・ 近海の黒潮続流の北限位置はやや北偏で推移する。
- ・ 親潮第1分枝の張り出しは南偏~やや南偏で推移する。
- ・ 釧路南東沖の暖水塊は停滞し、三陸沖合に暖水塊が形成される。



問い合わせ先

独立行政法人水産総合研究センター北海道区水産研究所 業務推進部

担当：野上、秋山

電話：011-822-2131、ファックス：011-822-3342

独立行政法人水産総合研究センター東北区水産研究所 業務推進部

電話：022-365-1191、ファックス：022-367-1250

当資料のホームページ掲載先URL

<http://abchan.job.affrc.go.jp/>

<http://tnfri.fra.affrc.go.jp/>

平成25年度東北海区海況予報 第2号

《今後の見通し (2013年7月～8月)》 (注) FRA-ROMSシステムによる結果

近海の黒潮続流の北限位置はやや北偏で推移し、親潮第1分枝の張り出しは南偏～やや南偏で推移する。また、釧路南東沖の暖水塊は停滞し、三陸沖合に暖水塊が形成される。

《海況の経過 (2013年4月～5月) の特徴》 (注) FRA-ROMSシステムによる結果

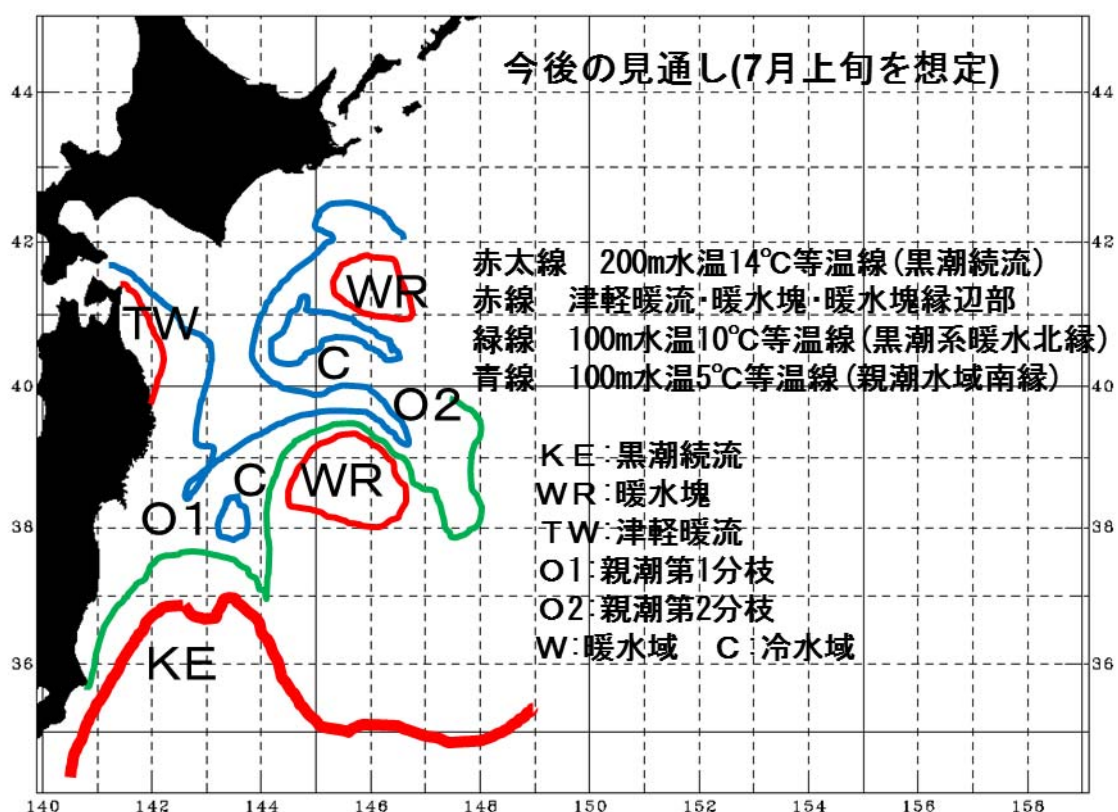
近海の黒潮続流の北限位置はやや北偏～平年並みで推移し、親潮第1分枝の張り出しは平年並み～やや南偏で推移した。また、三陸はるか沖合を西進した暖水塊は消滅した。

《現況 (2013年6月上旬) の特徴》 (注) FRA-ROMSシステムによる結果

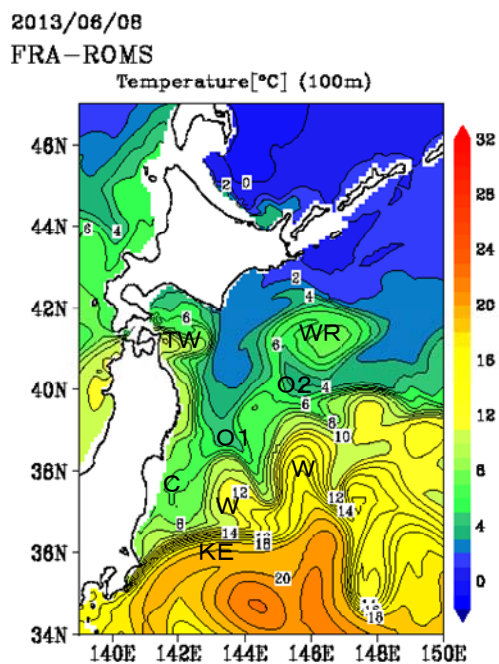
近海の黒潮続流の北限位置は平年並みであり、親潮第1分枝の張り出しはやや南偏である。また、三陸沖合に暖水域が拡がり、釧路南東沖に暖水塊が形成されている。

(注) この海況予報は、独立行政法人水産総合研究センターにより開発され、2012年5月より運用を開始したFRA-ROMSシステムを用いて作成している。

7月上旬予測水温分布図



6月上旬現況水温分布図 (100m深)



図中の記号はそれぞれ O1が親潮第1分枝、O2が親潮第2分枝、WRが暖水塊、Wが暖水域、Cが冷水域、KEが黒潮続流、TWが津軽暖流を表している。

参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産試験場</p> <p>茨城県水産試験場</p>	<p>独立行政法人 水産総合研究センター 東北区水産研究所</p> <p>(取りまとめ機関)</p> <p>独立行政法人 水産総合研究センター 北海道区水産研究所</p>
---	---